

# 分かりやすい文や紙面

## 二中生 新聞教室で学ぶ



記事の見出しの付け方を考える生徒たち

エヌ・アイ・イー  
**N I E**  
教育に新聞を



### 出雲

出雲市塩冶町の出雲第二中学校で2日、新聞教室があった。1年生と3年生

合わせて330人が、分かりやすい文章の書き方や紙面レイアウトを学んだ。

講師を務めた山陰中央新報社の清水由紀子NIE担当は、新聞記事の第1段落（リード）について「ただ最初にあるだけでなく、記事全体の概要がまとめてある大事な段落」と説明。リードで結論を伝え、2段落目以降の「本文」で補足する書き方を紹介した。

同じく水野幸雄担当は見出しの付け方について、記事を構成する「いつ、ど

こで、誰が、何を、なぜ、どのように・どうした」の5W1Hの要素を基に、重要な内容を取るようアドバイスした。

授業は自分の思いを的確にまとめ、人に伝える力や思考力を育てようと企画された。1年生は松江市での研修、3年生は職場体験の成果を新聞にまとめる。

1年生の本田実伶さん(12)は「新聞記事の構造を初めて知った。習ったことを生かして自分の体験をしっかりとめたい」と話した。

